

テーマ「子どもの居場所を考える」

大会長 鶴岡協立病院附属クリニック所長 石川 充

日 時:令和 7 年 10 月 26 日(日) 午後 1 時から

会 場:山形市保健センター 大会議室

山形市城南町一丁目 1 番 1 号(JR 山形駅直結・霞城セントラル 3F)

会 費:医 師 3000 円

医師以外の専門職 1000 円

学 生 無料 (医学部・教育学部など専門職の学部以上の学生に限る)

学会員に限らず、こどもにかかわる専門職(医療・心理・教育・福祉など守秘義務を負う職種)であればどなたでもご参加いただけます。多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

プログラム:

13:00 開会あいさつ・総会

13:20 一般演題 5 題

14:20 特別講演

「子ども・若者の居場所づくりの展開とその課題—特に 1990 年代以降の不登校支援を中心に—」

講師 山形大学地域教育文化学部教授 安藤 耕己先生

15:30 シンポジウム「子どもの居場所を考える」

1.「子ども・若者たち、その家族の居場所づくりの現状から」

樋口愛子氏(特定非営利活動法人クローバーの会@やまがた 理事長)

2.「一人でも多くの子どもたちが“今”を楽しむ地域を目指して」

佐藤広明氏 (合同会社ハウスカ 代表社員)

3.「サードプレイスが子どもにもたらす社会的自立への契機—事例からの考察—」

菅原 晴美氏 (とまり木つくる会 代表/ペアレントメンター)

思春期青年期のこころの発達には、同年代の人たちとの交流、ロールモデルとしての様々な大人との出会いが重要であると認識されている。今回、家庭や学校以外の「居場所」づくりについて研究されている安藤耕己先生に特別講演をお願いし、不登校支援としての「居場所」の可能性と課題についてご講演いただく。シンポジウムでは、実際に不登校支援を行っている、フリースクール、相談支援事業所兼放課後デイサービスと、ペアレントメンターから、現状や課題についてお話いただき、社会の中で育つ子どもについて理解を深めたい。

17:00 閉会あいさつ

取得認定単位 (申請中も含む)

日本心身医学会専門医

参加 8 単位、発表 5 単位

日本小児科学会新専門医単位 iii 小児科領域

シンポジウム・特別講演各 1 単位

子どものこころ専門医更新単位

シンポジウム・特別講演各 1 単位

日本小児科医会子どもの心相談医

4 単位

お問い合わせ:事務局 山形県立こども医療療育センター 白幡 恵美

E-mail:shirahatame@pref.yamagata.jp